

高齢者生活支援プロジェクト 買い物支援ワーキングチーム

令和8年1月29日

福祉部高齢政策課
企画部SDGs推進課

「買い物支援ワーキングチーム」の立ち上げ

- 高齢者の生活支援のうち、特に要支援者のニーズが高い買い物支援に特化し、実現可能な具体的事業展開を話し合うために、ワーキングチームを立ち上げる
- 構成員は、主に食品や日用品の販売・運送を扱う県内の事業者を想定
※チーム構成として事業者の業種を限定するものではない

まずは、次の4つの場面に対し、分科会を設けて課題等を検討していく

要支援者に対する買い物支援方法

- ①購入後配送（店舗で購入後の購入品の配送）
- ②移動販売（販売車による巡回での販売）
- ③個別宅への配送（特定施設への配送を含む）
- ④店舗への送客

分科会で課題整理・スキーム検討

支援方法別の検討内容(想定)

支援方法	要支援者が抱える問題(例)	検討内容(想定)
①購入後配送	荷物が重く、持てない	<ul style="list-style-type: none"> ・5,000円以上購入で配送無料といったサービスはある ・少額購入でも配送できないか (配送費は、利用者・介護保険料から)
②移動販売	徒歩圏内にない	<ul style="list-style-type: none"> ・市町がニーズのある場所を案内出来ないか →事業者と市町との情報共有の場が必要。市町と事業者との協議体を設置できないか 【参考例】川西市買い物支援ネットワーク ・とくし丸様のスキームで、要支援者宅へ出張できないか (時間が掛かる、購入額が少ない点は、介護保険料で補填できないか)
③個別宅への配送	注文できない	<ul style="list-style-type: none"> ・配送時に、次回の注文を取れないか (時間が掛かる点は、介護保険料で補填できないか)
④店舗への送客	店舗への移動手段がない	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者との連携も含め、できることはないか 例:交通事業者が店舗へ送迎 費用は、利用者・介護保険料・事業者負担(交通、スーパー)

※検討内容は想定で、自由にご提案ください。

支援方法についても、例示の4つ以外にも考えられる方法があればご提案ください。

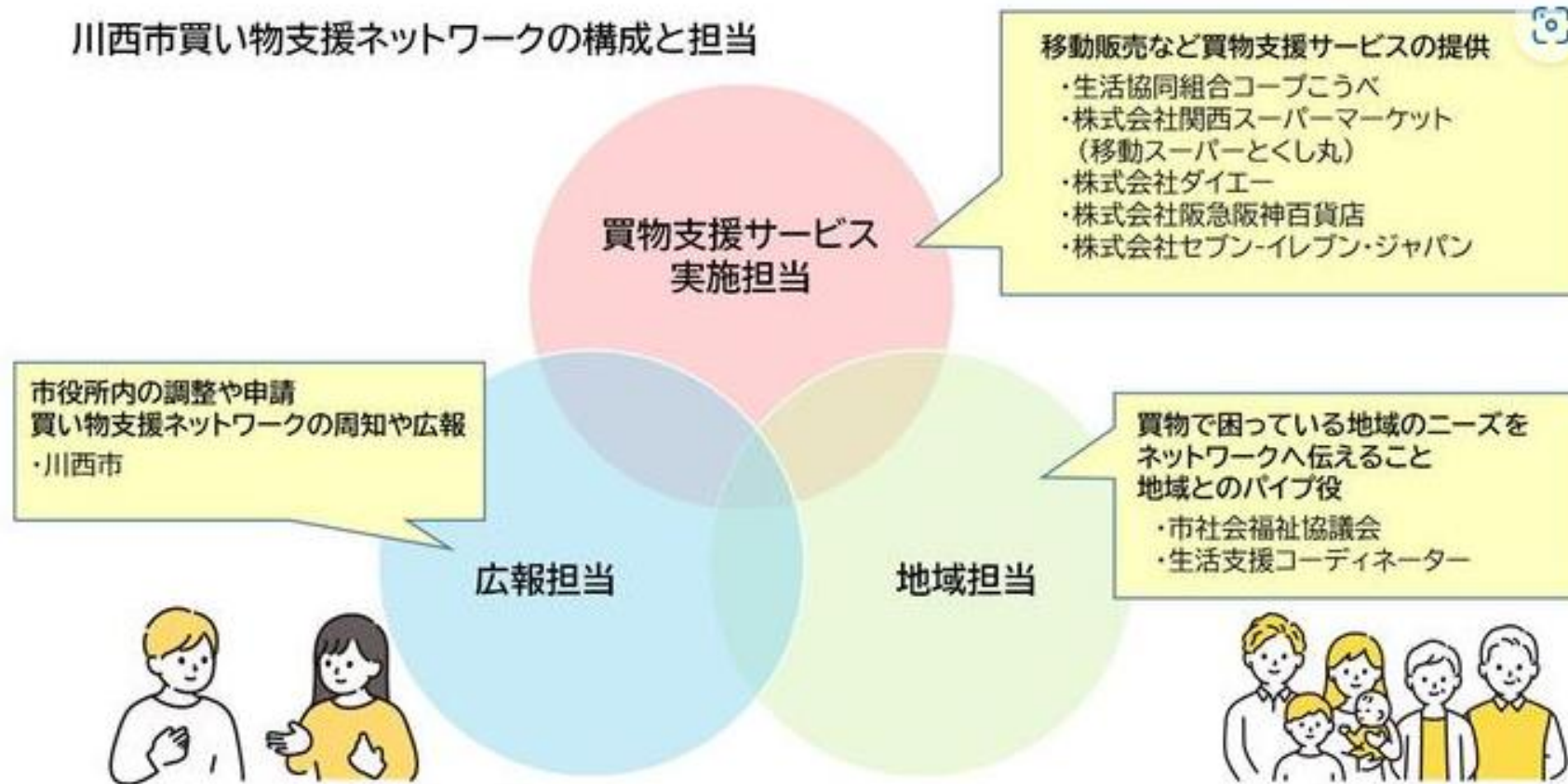
川西市買い物支援ネットワーク(参考)

移動販売などによる買い物支援を進めています。

川西市は、日常の買い物に困っている地域の支援を行うため、移動販売を行う民間事業者や市社会福祉協議会などとともに、「川西市買い物支援ネットワーク」として買い物支援に関する取組みを実施しています。

この取組みは一時的な支援策ではなく、長く続けられるように地域からのご協力もいただきながら進めます。

川西市買い物支援ネットワークの構成と担当



目的

市内で日常の買い物に困っている地域の情報を共有し、地域に合わせた方法での解決に向けて話し合い、解決に導くこと

今後の進め方

- ✓ 事業者様で検討の上、「買い物支援ワーキングチーム 及び 分科会」へ登録
- ✓ 分科会登録事業者様に、分科会ごとに日程調整の上、検討・協議(オンライン)を実施
分科会では、2頁で示したもののほか、事業者様からご提案頂いたものを具体的に検討
- ✓ 県と事業者様で事業スキーム(方法、費用等)を構築し、県内各市町に提示
実施意向の市町を含めた3者で個別協議し、トライアル試行

• 次のサイトより、ご登録ください(2/17㊄)

[買い物支援ワーキングチーム 参加意向および分科会登録フォーム](#)

- ※ 締め切り後、会議日時の調整を、分科会ごとに実施(日程調整は、当該分科会登録者に対してのみ実施)
- ※ 開催日決定後、ミーティングURLを送付 (URLは、ワーキングチーム全登録者に送付)



兵庫県